

□保育教諭における自己評価

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

項目	自己評価の観点
保育の計画性	1. 園の保育理念・保育方針の理解
	○園の保育理念や保育方針を理解している。
	2. 保育所保育指針の理解
	○保育所保育指針を理解していると思う。
	3. 保育過程の理解
	○園の保育過程を理解していると思う。
	4. 指導計画の作成
	○指導計画は、保育指針・保育過程・幼児の実態等をもとに考え作成している。
	5. 環境の構成
	○安全で清涼感のある環境づくりを心がけている。
	○幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間を心がけている
	○幼児の動線や目線に配慮した環境づくりを心がけている。
	○季節の変化に応じた環境づくりを心がけている。
	6. 保育と計画の評価・反省
○自分の保育と計画の評価・反省を行うようにしている。	

保育の在り方・幼児への対応	○評価・反省を口の保育と計画に活かせるように行なっている。
	○自分の保育を他の職員にも見てもらい、それをもとに検討している。
	1. 健康を安全
	○登園時は視診や検温により幼児の体調が悪くないか確かめている。
	○体調が悪そうな時は静かに寝かせたり、検温するなど適切な処置を行い家庭へ連絡している。
	○園内に危険な個所やものがないか、危険な遊び方をしていないか観察している。
	○万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告したり、保護者に連絡を取ったり、医者に診てもらうなど適切な処置を行っている。
	2. 幼児の理解
	○一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている。
	○幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。
	○幼児の理解のために保護者と話し合うことがある。
	3. 指導とかかわり
	○幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている。
	○園児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる。
	○幼児の話をよく聞くようにしている。
	○幼児をほめたり、励ましたり、目当てを持たせるような言葉かけをしている。
	○幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている。
	○「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、立ち振る舞いを心がけている。
	4. 保育者同士の協力と連携

	○幼児のことについて、常に保育者同士で話し合い、クラスを超えて情報を共有している。
	○指導上、必要な園児については、職員全体でよく話し合い、共通理解を持って対応するようにしている。
専 門 家 と し て の 資 質 （ 能 力 ・ 良 識 ・ 適 正 等 ）	1. 専門家としての能力・良識・義務
	○園児の性格や個性を把握するよう努めている。
	○朝と帰りのあいさつは、明るく元気に親しみをこめてしている。
	○何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉等で表わしている。
	○職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。
	2. 組織の一員としての在り方
	○子どもの事やクラスの出来事等で必要な事は、園長や主任に報告・連絡・相談をしている。
	○職員や園の批判を軽はずみにしていない。
	3. 保育の楽しみ・喜び
	○幼児のささやかな成長が理解でき、それを喜ぶことができる。
	4. 周りを感じ取れる完成
	○保育や子育てに関する情報を絶えずとらえるようにしている。
	5. 研修と研究
○研修会等には課題を持って進んで参加している。	
○園の遊具や教材、機材について基本的な使い方を知っている。	
○障がいのある幼児に対する保育の在り方を学習している。	
1. 情報の発信と受信	

保護者への対応	○クラスや子どもの様子、保育のポイント等をクラスだより等で知らせている。
	○個々の子どもの様子は、直接話したり、連絡帳等を使って伝えあっている。
	2. 協力と支援
	○保護者からのさまざまな訴えや意見要望について、容易に受けたり、断ったり、無視したりしないで園長や主任等に報告や相談をしている。
	3. 守秘義務の遵守
	○保護者の住所・電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている。
	4. 対応
	○電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいので、手短簡潔に要領よく対話することを心がけている。
地域との関わり	5. クレームへの対処の仕方
	○保護者からクレームがあった場合は、謙虚に話を聞き、園長に連絡・報告・相談をしている。
	1. 地域との関わり
	○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。
	○卒園した子どもの情報を得るように努めている。
○子育て支援の在り方について職員全体で話し合っている。	
○地域での行事や祭りなどに積極的に参加したり、協力したりしている。	

